

謹啓 寒さ厳しき折、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、野口哲子先生には、平成二十七年三月末日をもって定年退職されることになりました。

先生は、昭和四十三年四月に奈良女子大学理学部生物学科植物学科専攻にご入学され、昭和四十七年三月にご卒業、引き続き同大学院理学研究科に進学され、昭和四十九年三月に修士課程を修了されました。その後、昭和五十五年東京大学から理学博士の学位を取得されています。同年には奈良女子大学理学部助手として採用され、昭和五十八年には助教授、平成三年には教授に昇任され、就任以来四十一年間の長きにわたって本学に在職され、理学部生物学科・生物科学科の植物形態学講座と細胞機構学分野を担当されました。現在では本学教授と併任して奈良先端科学技術大学院大学の監事も務められています。

先生のご研究は、植物細胞の細胞小器官のはたらきを電子顕微鏡を用いて形態学的に明らかにしていくものです。特に緑藻類を使って、ご自身で改良した電子顕微鏡技術を駆使した世界的にも定評のある美しい電子顕微鏡像をもとに、ゴルジ体の機能と形態についての多くの成果を挙げられ、平成二十年には日本植物形態学会賞を受賞されています。近年は、「藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出」研究プロジェクトにも精力的に取り組まれ、先生ならではの成果を挙げられています。教育の面では、後輩となる学生たちが奈良女子大学の卒業生として恥じない活躍ができるよう、丁寧な真剣に指導していただきました。日頃から学生に気さくに話しかけられ、学生が主催する行事にも積極的に参加されました。学生たちも、先生の昼夜を問わず熱心に研究や教育に取り組む姿勢を見て、目標とすべき先輩として尊敬の念を抱いてきたと思われまます。

卒業生として大学の発展を心から願ってこられた先生は、理事・副学長をはじめとして、理学部長、附属学校部長、附属小学校長、評議員などの要職を務められ、大学の発展に尽力されました。また、学外にあっては、日本植物形態学会会長、日本植物学会や日本植物生理学会、日本細胞生物学会の評議員などとして、さらには日本学術会議の連携会員、文部科学省や日本学術振興会の種々の専門委員として、日本の学術振興についても多大な貢献をなされました。

野口先生のこれまでのご功績をたたえらるとともに、先生のご健康と今後のご研究の一層のご発展を願って、退職記念講義および退職記念会を企画いたしましたので、是非ともご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

平成二十七年一月吉日

野口哲子先生退職記念事業会発起人代表

奈良女子大学理学部生物科学科科长

保 智己

退職記念講義

日時 平成二十七年二月二十八日(土) 十一時から十二時四十分
場所 奈良女子大学G棟 一〇一教室

退職記念会

日時 平成二十七年二月二十八日(土) 十三時から十五時
場所 奈良女子大学ラウンジ(文学部S棟一階)
会費 五千円(記念品代を含む)

誠に恐れ入りますが、準備の都合上、記念会に出席の可否を左記連絡先へ電子メールでご連絡ください。会費は、二月十日頃までに下記の口座にお振り込みください。振込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。

振込先 奈良女子大学生物科学事業会
ゆうちょ銀行 記号14580 番号5166551
(ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振り込みの場合)
店名 四五八(読み ヨンゴハチ) 店番 458 普通預金 0516655

連絡先

奈良女子大学理学部生物科学科 鍵和田 聡
〒六三〇 八二六三 奈良市北魚屋西町

電話 〇七四二(二〇)三四二〇

電子メール kogiwada@cc.nara-wu.ac.jp

発起人

岩口伸一	鍵和田聡	佐伯和彦	酒井敦
坂口修一	佐藤宏明	杉浦真由美	保智己
奈良久美	西井一郎	春本晃江	安田恵子
遊佐陽一	吉川尚男	和田恵次	渡邊利雄

(五十音順)